

雪に感動！ スキー体験に 民泊家庭のぬくもり

～大山町・嘉手納町
人材育成交流事業～

旧大山町と沖縄県嘉手納町が、ともに国体のソフトボール会場になったことが縁で、毎年夏と冬に児童が相互に訪問しているのがこの事業。22回目の今回は、嘉手納町の児童16人（小学5年生）が1月26日から29日まで3泊4日の日程で町内を訪問。同級生の8家庭にホームステイをしながら、スキー体験や学校訪問を通して交流を深めました。

26日昼前に那覇空港を出発した訪問団は、午後5時半ごろ大山公民館に到着。関係者の歓迎を受けて民泊家庭の児童、保護者と対面。初めての出会いにお互い少し緊張しながら、あいさつを交わし、交流がスタートしました。

27日、嘉手納町の児童達は、まず大山西小学校を訪問しました。大山西小学校6年生と嘉手納町児童による沖縄県の踊り「ケンサンピン」の共演、大山西小学校5年生による「カラス天狗伝説」の披露があり、お互いに交流を深めました。その後、妻木晩田遺跡、水木しげるロードを訪れました。

28日は、嘉手納町の児童達が待ちに待ったスキー教室。指導員から滑り方を教わりながら、民泊家庭の児童とともに初体験のスキーを堪能しました。

最終日には、仲良くなった大山町児童たちと今夏の再会を約束し、元気良く帰路に着きました。



▲「カラス天狗伝説」披露（大山西小）



▲雪のかたまりの上で



▶お別れ式にて

学校防犯用に さすまた寄贈

このほど小中学校の防犯の取り組みに役立てるよう、米子市河崎の大同警備保障（船田邦昭社長）から、さすまた6本を寄贈していただきました。同社は今年設立25周年を迎えることから記念事業として寄贈したもので、これにより、町ではすべての小中学校と保育所に防犯対策として、2本ずつのさすまたを配備することができました。



▶防犯対策に活用を（名和小）

1月13日（水）には、名和小学校の防犯訓練実施にあたり、船田社長から同校國頭徹夫校長にさすまたが手渡されました。そして早速、教職員が不審者事案に備えたさすまたの使い方などを教わりました。



「子ども見守り隊」隊員を 募集しています

この「見守り隊」は、小中学生の安全のため、下校時にあわせて近所を散歩したり、通学路周辺の畑などで作業したりしながら、自分の都合にあった無理のない見守り活動をしていただくものです。ボランティア隊員の方にはロゴ入りジャンパーと帽子を着用してもらいます。

下校時に合わせて活動ができる方ならどなたでも、いつでも隊員の登録をしていただけますので、多くの方のご支援・ご協力をお願いします。

◆申し込み、問い合わせ先
教育委員会事務局
学校教育課

☎0859・54・5211